

名古屋能楽堂

正月特別公演

能の神様 狂言の神様

五穀豊穡を祈る「翁」、夷に大黒、女神の姿で現れる三輪明神。
舞台上に降り立つ神様たち



Nagoya Noh Theater
January 2019



能「三輪」

平成31年

1月3日(木)

13:00開演(12:30開場)

※能「翁」開演後30分間は入退場できませんのでご注意ください。

指定席……………5,200円

自由席(一般)……4,100円

自由席(学生)……2,100円

※当日券は自由席のみ500円増となります。

前売券発売10月17日(水)

🎁ご来場の方に抽選で素敵なプレゼント!

本公演にご来場の方の中から抽選で10名様に能楽グッズをプレゼントします。

※ご入場の際にお配りするパンフレットに応募券【ご応募の締切は休憩終了まで】が入っておりますのでご確認ください。

●イヤホンガイド 演能の解説が聞ける受信機を無料でお貸しします。(日本語/英語)
Noh performance Guide/Rent-free for a wireless headset (Japanese/English)



能

「三輪」(観世流)
シテ 久田三津子



狂言

「夷大黒」(和泉流)
シテ 松田 高義



能

「翁」(観世流)
シテ 久田 勘助
千歳 伊藤 裕貴
三番叟 今枝 郁雄

能「翁」撮影:杉浦賢次/能「三輪」撮影:工房円

主催

名古屋市文化振興事業団

名古屋能楽堂

公益社団法人 能楽協会 名古屋支部



※能「翁」開演30分間は入退場できませんので、ご注意ください。

能
翁（観世流）

能「翁」	日本語／三苦 佳子 (愛知産業大学短期大学 非常勤講師)	地謡 吉沢 旭 本田 勲 松山 幸親	狂言後見 後見 八神 孝充 下川 宜長	笛 大野 誠	脇鼓 上田 敦史	小鼓頭取 久田舜一郎	脇鼓 荒木 建作	大鼓 河村眞之介	翁 千歳 三番叟 面箱持	久田 勘鷗 伊藤 裕貴 今枝 郁雄 大橋 則夫
能「三輪」	日本語／米田 真理 (朝日大学経営学部教授)	地謡 伊藤 裕貴 吉沢 旭 八神 孝充	後見 佐藤 友彦 鹿島 俊裕	笛 山村 友子	脇鼓 河村裕一郎	小鼓 後藤嘉津幸	太鼓 加藤 洋輝	後見 佐藤 友彦 鹿島 俊裕	翁 大黒 和泉流 大黒 高義 野口 隆行 藤波 徹	久田 三津子 飯富 雅介 井上松次郎

都合により出演者等が変更となる
場合がございます。
あらかじめご了承ください。狂言
夷大黒（和泉流）

狂言	シテ 大黒	アド 夷	アド 有徳人	地謡 野村 信朗 伴野 俊彦 野村 又三郎 伊藤 泰	後見 佐藤 友彦 鹿島 俊裕	笛 山村 友子	脇鼓 河村裕一郎	小鼓 後藤嘉津幸	太鼓 加藤 洋輝	翁 大黒 和泉流 大黒 高義 野口 隆行 藤波 徹	久田 三津子 飯富 雅介 井上松次郎
----	----------	---------	-----------	--	----------------------	------------	-------------	-------------	-------------	---------------------------------------	--------------------------

地謡	伊藤 裕貴 吉沢 旭 八神 孝充	後見 佐藤 友彦 鹿島 俊裕	笛 山村 友子	脇鼓 河村裕一郎	小鼓 後藤嘉津幸	太鼓 加藤 洋輝	翁 大黒 和泉流 大黒 高義 野口 隆行 藤波 徹	久田 三津子 飯富 雅介 井上松次郎
----	------------------------	----------------------	------------	-------------	-------------	-------------	---------------------------------------	--------------------------

(午後四時半頃終了予定)

◇能解説「翁」(おきな)

新春。切火で清められた舞台に、潔斎をすませた演者が、面箱・翁・千歳・三番叟……と続いて全員が登場する。
「切火」とはこの場合、幕際から火打石で火を飛ばすこと。後見の役割。清新の気が漲る。
翁は狩衣・指貫・面箱・千歳・三番叟は侍烏帽子に直垂。唯、地謡などは侍烏帽子に素襦を着る。
「翁」の舞は三部から成り立っていて、最初の千歳は「喝るは滝の水……」と謡い出し、若々しく躍爽とした舞次に翁の面を舞台上でつけたシテは祈禱的な意味合いを持つ重厚な舞を舞う。その中で、角脇座前中央で三回ずつ拍子踏を踏む。これを「天・地・人の拍子」と称する。翁と千歳の退場後、三番叟の賑やかな舞となる。はじめの部分を「揉之段」、黒式尉の面をつけ、鈴を持った後半部の舞を「鈴之段」と称する。
天下泰平、国土安穩を祈る儀式能。
新年の翁。それはさわやかな日本の新春。

◇狂言解説「夷大黒」(えびすだいく)

河内國交野に住む男が、不遇もあつて比叡山の夷大黒と西宮神社の夷三郎を参詣し豊かに暮らせるようにと祈誓を掛け、両神が我が家を訪ねてくれるように勧請します。家に注連縄を張って待ち受けている処へ夷・大黒の両神が現れ、自ら各々の有難い由来を語り……

◇能解説「三輪」(みわ)

「三輪」は神道の初期的な時代を、能という中世的な形態でまとめあげたもの、と考えることが出来る。
(あらすじ)ある秋の一日、大和の國、三輪の山かげに住む玄寶僧(みわ)のものと中年の女(シテ)が来て、罪の救済を願うが、衣を二重に頂きたいと頼む。僧が衣を与え、住みかは三輪の神木である形のあるたてをきき消すように失せてしまった。中入里人(アヒ)狂言が明神に参詣すると、神木に僧の衣がかかっている。里人はその旨を僧に告げる。僧が形のある神木のもとへ行ってみると三輪の明神後シテが女神の姿であられて、杉にまつわる神婚説話を語り、又たの岩戸の故事を舞によって表現し、三輪と伊勢の神は一体分身の御事だと説く。
「三輪」は上演回数が多い能であるが、筋だて追って全体像がつかみにくい。即ち①前シテの「あり方」(紅無し・赤い色を用いない装束)の唐織姿の里人②後シテの神婚説話③天の岩戸の故事、この三部分が、一見必然的な連携を持っていないように見えるため、一曲を通したメイン・テーマが不明瞭なものである。しかし以下に述べる項が「三輪」の全体像を理解する手だてもなければ幸いである。○神道の初期には、形のいい山の頂上に神が天から降りてくる。故に山の頂上が祀りの場であったが、その後、山自体が神体と考えられるようになったこと。○三輪の神は本来、男体とされているが、女体という説話もある。ついで、能では女体として作られている。○前シテはいうまでもなく三輪の神の化身であるが、この能では「神」をその本来の神性で表現しようとはせず、人間の迷いを持つ者ととして呈示されている。これを理解しないと、前シテの存在理由そのものが不明瞭となる。○三輪神社は山自体が神体であった。そのため本殿は存在しない。参道を上って見えてくる社殿は立派な「拝殿」のみである。○三輪は神道の根源的な立場であるため、大和朝廷の初期の時代その勢力が鈴鹿以西、奈良盆地を中心としてその周辺であった時代は皇室の先祖を三輪山に祀つてあった。そのためにも三輪山は西のふもと、即ち奈良盆地の東側に西向きに上った斜面に小さな神殿がある。このあたりが太陽が印象的である。○それから以後に大和朝廷の勢力が次第に拡大していったため、皇室の先祖「神話」として天照大神と考へていたのである。→を鈴鹿山脈より東側、即ち現在の伊勢神宮、伊勢の國五鈴川のほとりに移して祀つた。能「三輪」の結末部に思ふは伊勢と三思、三輪の神、一体分身の御事、今更何と誓(誓)と(言)の意を含む)の詞章がある。三輪は伊勢より古く、三輪が根元であった。○いまでも参道と交差している細い山道は、昔のこの地における主要道路で「万葉の道」といわれ、元伊勢の方へ行く途中に玄寶庵がある。○三輪山は現在、近鉄で名古屋から大阪へ向けて行く、奈良盆地へ入ることもなく、右側に美しい形の整った山が見えてくる。それが三輪山……これら理由も明快に見えてくることとなるだろう。

「三輪」は日本における神道の初期的な時代を、能という中世的な形態でまとめあげた作品といえる。
(泉 嘉太)

正月特別公演事前学習講座

12月15日(土) 14:00~16:00

[受講チケット] 正月特別公演とのセット券600円、一般券1,000円 ほか

◆能「翁」「三輪」のあらすじ、見どころを解説します。詳細は事前学習講座チラシをご覧ください。

チケット料金(税込) ※前売券発売日 平成30年10月17日(水)

	指 定 Reserved	自 由 Non reserved plus ¥500, on the day	
		一 般 Adult	学 生 Student under 25 years old
前 売 Advance sale	5,200円	4,100円	2,100円

※当日券は自由席のみ500円増となります。＊学生券は25歳以下を対象とします。

＊事業団友の会会員・障がい者手帳をお持ちの方(付添者1名含む)は
1割引(学生券をのぞく)
(名古屋能楽堂・事業団チケットガイド・事業団施設窓口のみ。各割引の併用はできません。)

＊上演中の写真撮影・ビデオ撮影・録音は、事前に許可を受けた方以外
はご遠慮下さい。＊未就学児のご入場はお断りいたします。

前売券取扱所 Ticket Office

名古屋能楽堂／TEL.052-231-0088

名古屋市文化振興事業団チケットガイド／TEL.052-249-9387

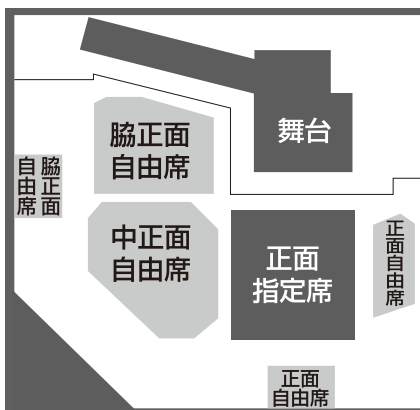
(平日9:00~17:00/チケット郵送可)

※名古屋市文化振興事業団が管理する文化施設窓口＜土日祝日も営業＞でもお求めいただけます。(工事休館などがありますので、ホームページでご確認ください。)

栄プレチケ92／TEL.052-953-0777・チケットぴあ／TEL.0570-02-9999(Pコード489-151) ＊お近くのセブンイレブン、サークルKサンクスでもお買い求めいただけます。

＊外国籍が証明できるパスポート等を持参された方には前売・当日とも1割引きます。(名古屋能楽堂取扱のみ)

To visitors who bring their passports or the likes which prove respective foreign nationalities, advance/day tickets are available at a 10% discount. (at Nagoya Noh Theater only)

お問い合わせ／名古屋能楽堂 TEL 052-231-0088 FAX 052-231-8756 <http://www.bunka758.or.jp>

＊地下鉄・市バス等公共交通機関をご利用ください。

ワクワク・ドキドキ特典がいっぱい
「友の会」会員募集中!

公益財団法人 名古屋市文化振興事業団 TEL.052-249-9385